（様式１）

一般財団法人 学生サポートセンター

理事長　　田中　壯一郎　様

**2022「学生ビジネスプランコンテスト」申込書**

下記のとおり、貴財団の募集要項に従い、「学生ビジネスプランコンテスト」に申し込みます。

提出年月日：2022 年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| （ふ　り　が　な）応 募 者 氏 名（代表者） |  |
| 代表者以外のメンバーの氏 名（ふりがな） |  |
| 所 属 大 学（学校）・学 部・学 科 名 等　　　 | 大学（学校）名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学部・学科名等：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 代 表 者 の 連 絡 先（住所・電話番号等） | 【住所】（〒　　　－　　　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【電話番号】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【携帯番号】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【Ｅメールアドレス】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| プ　ラ ン 分 野 | （ 該当する項目を○印で囲んでください。複数可 ）・IT分野　・サービス　・流通　・物販　・もの作り　・情報提供・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 大学（学校）の事務担当（担当者の職名・氏名・電話番号等） | （ 応募する場合は必ず大学(学校)事務担当部局に連絡してください。）【事務担当部局課名】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【事務担当者職名・氏名】　　　　　　　　　　　　　　　　　　【住所】（〒　　　－　　　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【電話番号】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【Ｅメールアドレス】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

（様式２）

一般財団法人 学生サポートセンター

理事長　　田中　壯一郎　様

**2022「学生ビジネスプランコンテスト」申込書**

|  |
| --- |
| 【プラン名】 |
| 　◎　プランの内容を下記の項目ごとに要約して記載してください。 |
| 【目的・概要】 |
| 【新規性・独創性】 |
| 【実現性】 |
| 【市場性（成長性）】 |
| 【マーケティング】 |
| 【社会性】 |

**【売上・利益計画】**（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事 業・商 品 別 計 画（事 業 名・商 品 名） | 第　1　期令和　　年　　月期 | 第　2　期令和　　年　　月期 | 第　3　期令和　　年　　月期 |
| 売　　上　　高１．２．３．計 | （　　　　　％）千円 | （　　　　　％）千円 | （　　　　　％）千円 |
| 経　常　利　益 | 千円 | 千円 | 千円 |

※（　　　）内は粗利益率

**【資金計画】**（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 必 要 資 金 | 金 　　額 | 調 達 方 法 | 金　 　額 |
| （設備資金） | 千円 |  | 千円 |
| （運転資金） | 千円 |  | 千円 |

**【その他】**

|  |
| --- |
|  |

**記入要領**

**【様式 １】**

**１．代表者以外のメンバーの氏名**

・複数で書ききれない場合は、「別用紙」を使ってください。（所属大学（学校）名も同じ。）

**２．代表者の連絡先**

・代表者の連絡先住所・電話番号等を記入してください。

**３．大学（学校）の事務担当**

・応募にあたっては、必ず大学（学校）事務担当部局に連絡の上、事務担当部局課名、事務担当者

職名・氏名、住所、電話番号等を記入してください。

**【様式 ２】**

**１．プラン名**

・事業のプラン名・商品名（サービス）を記載してください。

・専門用語をあまり使わず、誰でもわかるプラン名で、50字以内で記載してください。

**２．目的・概要**

・この事業がなぜ必要とされるのか、社会的背景、具体的なニーズなどを踏まえて、目的を出来るだ

　けわかりやすく記載してください。（収益なのか公益なのか、社会活動なのかも含めて）

・商品・技術・サービス等事業の内容をわかりやすく記載してください。

**３．新規性・独創性**

・類似商品、類似技術、類似サービスについては、従来のものと比較して、この事業（商品・技術・

サービス等）の新規性・独創性・優位性等を具体的に記載してください。また、この事業（商品・

技術・サービス等）の強み・弱みを記載してください。

・これまでの事業（商品）にない新しさ。

・これまでの事業（商品）に対して有する優位性。（例：従来製品より安く提供できる。）

**４．実現性**

・商品、技術、サービス等の生産（提供）方法等を記載してください。また、生産（提供）過程で必

　要な原材料、設備投資、人材、特許、法的制約等をできるだけわかりやすく記載してください。

・どのようにして商品（サービス）を生産（提供）するのか。

・そのために必要な人材、施設（設備）、原材料は何か、それらをどうやって確保するのか。

**５．市場性（成長性）**

・この事業（商品、技術、サービス等）の市場状況（顧客層、顧客数、市場規模、将来性等）につい

て、数値等を用いて可能な限り具体的に記載してください。

・この商品（サービス）を購入するのはどのような人、組織、地域か。

・上記の顧客層はどのくらいおり、今後どのように変化していくのか。

**６．マーケティング**

・この事業(商品、技術、サービス等）を実施するにあたってのマーケティング方法（販売ターゲット

（顧客）販売価格、販売方法、販売促進方法、PR方法等）をできるだけ具体的に記載してください。

・価格設定はどうするのか。

・顧客層にどのようにPRし、売り込んでいくのか。

**７．社会性（時代の要請）**

・この事業（商品、技術、サービス等）が提供されることにより、社会的にどのような影響を与える

のか。または、どのような変化が起こると考えられるのかを記載してください。

・この事業が行われることによる社会的な利益、効果。

**８．売上・利益計画**

・商品、サービスごとに今後3年（期）間の売上高・粗利益率及び経常利益を記載してください。

**９．資金計画**

・事業展開するために必要な資金とその調達方法について記載してください。

・必要資金は設備資金と運転資金に分けて記載してください。

・設備資金：店舗、機械、設備等

・運転資金：商品仕入れ、従業員給与、経費等支払のための資金

・調達方法：自己資金、借入金など

**１０．その他**

・特にアピールすることがあれば記載してください。

**【その他注意事項】**

１．様式１及び２は、当財団ホームページからダウンロードした所定の様式を使用してください。応募に当たっては、メールに添付する形式でのみ受け付けます。また、様式１及び２のファイルは、必ずWord形式の文書で提出してください。その他の形式の文書は不可です。

２．様式２に記載する「目的・概要」、「新規性・独創性」などの各項目は、審査の公平性を期するため、原則として所定の様式の枠内に収まるようにわかりやすく要約して記載してください。

　３．様式２に関連して必要な図表やイラスト等の「補足説明資料」がある場合は、A４判５枚以内で別に添付してください。なお、データ量の関係上、この資料のみPDF形式で提出することを可とします。

　４．応募の情報については、この助成事業に係るもの以外には使用しません。

以上